

◎第12回理事会(40.5.7) 出席者：福田会長、大石副会長、羽田専務理事、板倉、内田、江口、岡崎、春日屋、近藤、篠原、嶋、鍬、樋浦、藤田、前沢、松尾、安宅、渡辺の各理事、小林、武内の両監事。議事録署名者 福田議長、羽田専務理事、藤田理事。A. 報告事項：1) 各種委員会。2) 刊行物頒布報告。3) その他。B. 協議事項：1) 昭和40年度理事・監事選挙投票を開票し、会長に岡部三郎氏、副会長に水野高明氏、理事に町田利武氏外13氏および監事に井関正雄氏の当選を確認。2) 昭和39年度事業報告を羽田専務理事説明、原案のとおり第2回定例評議員会の議を経て総会に提案することを承認。3) 昭和39年度決算報告を羽田専務理事が説明し会計監査の結果、誤りのないことを承認された旨報告、質疑応答の後、原案のとおり第2回定例評議員会の議を経て総会に提案することを承認。4) 土木賞授与者を下記のとおり決定

土木学会賞

駐車実態調査方式の研究

- 委員 毛利正光君
- 若戸大橋の調査、設計、施工
- 川崎 偉志夫君・乙 藤 憲一君
- 下川 浩資君・池田 哲夫君
- 吉田 巖君

土木学会奨励賞

土木工事における PERT 手法の導入と開発に関する業績

- 加藤 昭吉君
- 1. 横荷重・ねじれ・ならびに垂直荷重をうけるつり橋の計算を電子計算機にかけるためのプログラム
- 2. つり橋ケーブルの水平反力簡易算定法
- 島田 静雄君

5) 吉田賞および吉田研究奨励金授与者を下記のとおり決定

吉田賞

単純曲げを受ける鉄筋コンクリート桁およびプレストレスト コンクリート 桁の極限強さ設計法に関する研究

藤田 嘉夫君

吉田研究奨励金

PRC 桁のひびわれに対する 収縮およびクリープの影響について

角 田 与史雄君

コンクリート用型枠の構造と締固めの効果に関する研究

尾坂芳夫君・山口良雄君・林 博君

ハイアルミナセメントの 鉄道工事への応用に関する研究

久門田 環君・本岡和雄君・羽取 昌君

ソイルセメントの力学的性質に関する研究

川村 満紀君

保水性混和材を用いた 軽量コンクリート製造について

杉山嘉徳君・瀧木泰郎君

注入コンクリートのひびわれの補修方法

町田 篤彦君  
低温下におけるコンクリート 性状に関する  
基礎研究  
吉田 弥智君

6) 基金編入について下記のとおり第2回定例評議員会に提案する 旨羽田専務理事より説明し可決した。(1) 基金利子のうち、13 643 円を一般基金に繰入れる、(2) 吉田徳次郎博士印税 62 262 円と、(3) 吉田賞基金の次年度への繰越金のうち、600 000 円(2)+(3)の計 662 262 円を吉田賞基金に繰入れる。7) 表彰制度審議委員会について羽田専務理事より説明があり、前回理事会にて決定した表彰制度審議委員会の内規を原案どおり可決。委員長は福田会長が永田年氏と協議して、福田武雄氏または永田年氏のうちから決める。8) 相模川河口調査研究受託について羽田専務理事より説明があり、期間、費用等について質疑応答の後、海岸工学委員会に諮問してその結果によって決定する。9) つぎのとおり委員を委嘱。

原子力土木技術委員会

委員 真鍋 恭平 新任  
日本原子力発電KK建設部

岩盤力学委員会

常任委員 近藤 信昭 新任  
関西電力KK黒四管理事務所

土木工学叢書委員会

委員長 最上 武雄 改組新任  
東京大学教授

委員 米元 卓介 “  
早稲田大学教授

“ 八十島 義之助 “  
東京大学教授

“ 谷 藤 正三 “  
北海道開発庁事務次官

“ 丸 安 隆和 “  
東京大学生産技術研究所

“ 森 茂 “  
自営(コンサルタント)

“ 河野 通之 “  
国鉄構造物設計事務所長

“ 白石 俊多 “  
KK地下工事コンサルタント

“ 春日 屋 伸昌 “  
中央大学教授

◎昭和39年度第2回定例評議員会

(40.5.12)出席者：(北海道)北郷、(東北)原田、(関東)有江、神田、後藤、松井、小林、高久、前田、三村、(中部)鹿島、西畑、山本、(関西)石田、岡田、巽、(中四)坂田の各評議員、委任状40通、ほか福田会長、羽田専務理事。議長に松井評議員を万場一致で選任。議事録署名者 松井議長、小林評議員、三村評議員。福田会長挨拶の後議事に入った。議事：1) 昭和40年度役員について；昭和40年5月7日第12回定例理事会において、開票の結果つぎのとおり決定した旨、羽田専務理事より報告、了承。

会長 岡部 三郎 東亜港湾工業KK社長

副会長 水野 高明 九州大学教授工学部長  
理事 町田 利武 北海道開発局建設部長  
“ 多谷 虎男 東北大学教授  
“ 富所 強哉 建設省東北地方建設局企画室長  
“ 久保慶三郎 東京大学教授  
“ 佐藤 友光 東京電力KK建設部土木課長  
“ 藤田 博愛 東京都水道局利根川建設本部長  
“ 耳野 慎 帝都高速交通営団建設部設計第2部長  
“ 森垣 常夫 国鉄審議室調査役  
“ 成岡 昌夫 名古屋大学教授  
“ 近藤市三郎 KK大林組常務取締役  
“ 友田 清三 阪神水道企業庁長  
“ 青木 康夫 建設省四国地方建設局長  
“ 内林 達夫 KK水野組専務取締役  
“ 宇野 周三 九州電力KK土木部長  
監事 井関 正雄 KK熊谷組専務取締役

2) 総会提出議案について；① 昭和39年度事業報告、② 昭和39年度決算報告、③ 定款一部改正の件、④ 名誉会員の推荐、⑤ 表彰について。3) 基金編入について。

◎各種委員会

(1) 高校土木教育研究委員会 土木材料実験指導書改訂分科会(第1回)(40.1.28)出席者：関係者9名。議事：1)アンケート結果について。2)改訂されたJISの内容について。3)執筆者の分担について。4)その他。

(2) 異形鉄筋実験研究小委員会(40.4.2)出席者：国分委員長、ほか10名。議事：1)第2回異形鉄筋に関するシンポジウムについて。2)各委託会社との協議会について。3)追加試験について。4)研究費の精算について。

(3) 第84回耐震工学委員会(40.4.2)出席者：那須委員長、岡本副委員長、ほか13名。議事：1)前回議事録の確認。2)耐震構造設計研究委員会について。3)本州四国・耐震設計小委員会について。4)新潟震災調査委員会について。5)地震工学研究発表会について。6)第3回世界地震工学会議について。

(4) 新潟震災調査委員会(40.4.2)出席者：原田主査、ほか6名。議事：電力編報告書原稿のとりまとめを行なった。

(5) 岩盤力学委員会第1分科会(第12回)(40.4.6)出席者：井上主査、ほか5名。議事：1)花崗岩中に貫ぬかれた鉄道トンネルについて(講演)国鉄吉川委員。2)「岩盤力学」執筆について。

(6) 新潟震災調査委員会 道路部門専門委員会(40.4.6)出席者：関係者5名。議事：道路編報告書原稿のとりまとめを行なった。

(7) 高校土木教育研究委員会 土木材料実験指導書改訂分科会(第2回)(40.

4.6) 出席者：関係者8名。議事：1) 執筆原稿の交換、検討。2) コンクリートの部分の検討。3) 今後の分科会の開催について。4) その他。

(8) 新潟震災調査委員会 道路部門専門委員会幹事会(40.4.7) 出席者：関係者5名。議事：道路編報告書原稿のとりまとめについて。

(9) 新潟震災調査委員会 橋梁部門専門委員会(40.4.7) 出席者：村上主査、ほか11名。議事：橋梁編報告書(案)につき審議した。

(10) 新潟震災調査委員会 電力部門専門委員会(40.4.8) 出席者：原田主査、ほか3名。議事：電力編報告書原稿のとりまとめを行なった。

(11) 新潟震災調査委員会 電力部門専門委員会(40.4.9) 出席者：原田主査、ほか3名。議事：電力編報告書原稿のとりまとめを行なった。

(12) 新潟震災調査委員会 電力部門専門委員会(40.4.10) 出席者：原田主査、ほか3名。議事：電力編報告書原稿につき最終審議を行なった。

(13) 高速道路トンネルの標準断面に関する研究委員会(40.4.13) 出席者：住友委員長、ほか11名。議事：報告書のとりまとめを行なった。

(14) 新潟震災調査委員会 道路部門専門委員会幹事会(40.4.15) 出席者：福岡主査、ほか4名。議事：道路編報告書原稿のとりまとめを行なった。

(15) 岩盤力学委員会第2分科会(第13回)(40.4.15) 出席者：飯田主査、ほか5名。議事：“岩盤力学”執筆について打合せした。

(16) 岩盤力学委員会第5分科会(第4回)(40.4.15) 出席者：高橋主査、ほか12名。議事：1) “岩盤力学”執筆について。2) 蒲原トンネルについて(講演)今西委員。

(17) 無筋コンクリート標準示方書改訂小委員会(40.4.15) 出席者：国分委員長、樋口主査、ほか17名。議事：1) 無筋コンクリート標準示方書(改訂第3原案)につき審議した。2) 道路、ダムを示方書について。

(18) コンクリート委員会PC工法打合せ(40.4.15) 出席者：国分委員長、ほか16名。議事：PC工法の種別についての設計、施工の基準を検討するため、PC工法小委員会を設置することにつき打合せを行なった。

(19) 岩盤力学委員会第3分科会(第11回)(40.4.16) 出席者：駒井主査、ほか8名。議事：“岩盤力学”執筆について

審議した。

(20) 岩盤力学委員会第4分科会(第11回)(40.4.16) 出席者：色部主査、ほか4名。議事：1) 主査の選任について。2) “岩盤力学”執筆について。3) 岩盤力学文献目録について。4) 一傾斜接合面を有する半無限体の解法(講演)色部委員。

(21) 第3回岩盤力学委員会(40.4.16) 出席者：岡本委員長、ほか20名。議事：1) 委員会構成について。2) 昭和39年度事業・会計報告。3) 昭和40年度事業計画。4) 昭和40年度予算について。

(22) 異形鉄筋実験研究小委員会(40.4.16) 出席者：国分委員長、ほか18名。議事：いままでの実験結果を中心に各社別の説明会を行なった。

(23) 新潟震災調査委員会 道路部門専門委員会(40.4.16) 出席者：福岡主査、ほか8名。議事：道路編報告書原稿のとりまとめを行なった。

(24) 新潟震災調査委員会 河川部門専門委員会幹事会(40.4.16) 出席者：関係者6名。議事：河川編報告書原稿のとりまとめを行なった。

(25) 土木賞在京委員会(40.4.20) 出席者：八十島学術賞主査、伊藤技術賞主査、羽田専務理事、ほか2名。議事：土木賞候補予選投票の開票を行なった。

(26) 出版企画委員会(40.4.20) 出席者：森委員長、春日屋副委員長、嶋幹事長、ほか5名。議事：前回の幹事会で報告および協議された事項について幹事長より説明を加えながら委員の意見を検討した。なお委員交代について協議した。

(27) 第24回原子力土木技術委員会(40.4.21) 出席者：左合委員長、ほか9名。議事：1) 前回議事録の確認。2) 第2回理工学における放射性同位元素研究発表会について。3) 科学技術庁委託研究について。4) 原子力発電敷地選定に関する問題について。5) 原子力国際会議報告(角谷委員)。6) 退選の問題について。

(28) コンクリート委員会PC工法打合せ(40.4.22) 出席者：国分委員長、ほか5名。議事：PC工法小委員会の設置について；現在学会ではPC設計施工指針ができていないが、これだけでは実際の設計、施工には不十分な点もあり、各方面で工法別の規程を作りたい旨申入れがあり、それに対処するため、コンクリート委員会内にPC工法小委員会を設置し、各工法別に審議検討し、学会刊行物として出版することにした。なお、この処理については関係方面からの申込みにより立案する。

(29) コンクリート委員会打合せ(40.

4.22) 出席者：関係者6名。議事：1) 大径鉄筋の使用方法の研究について。2) 異形鉄筋設計例集の改訂について。

(30) 本州四国耐風設計小委員会第33回幹事会(40.4.23) 出席者：関係者13名。議事：省略。

(31) 高速道路トンネルの標準断面に関する研究委員会(40.4.26) 出席者：住友委員長、ほか7名。議事：委員会報告書(案)につき最終審議を行なった。

(32) 高校土木教育研究委員会第4回幹事会(40.4.26) 出席者：福田委員長、ほか9名。議事：1) 幹事長の交代について。2) 指導要領の検討。3) その他。

(33) 土木図書館運営委員会幹事会(40.4.27) 出席者：米元委員長、ほか2名。議事：1) 土木図書館利用状況について。2) 図書購入状況について。3) 資料寄贈依頼について。

(34) 本州四国耐震設計小委員会第27回幹事会(40.4.27) 出席者：関係者10名。議事：省略。

(35) 本州四国上部構造に関する専門部会第30回幹事会(40.4.30) 出席者：関係者13名。議事：省略。

(35) 本州四国基礎に関する専門部会第36回幹事会(40.4.30) 出席者：関係者13名。議事：省略。

(37) 第3回吉田賞委員会(40.4.30) 出席者：山本委員長、国分副委員長、ほか8名。議事：1) 経過報告。2) 吉田賞受賞候補決選投票の開票。3) 吉田賞受賞者の決定。4) 吉田研究奨励金小委員会報告。5) 吉田研究奨励金被授与者の決定。6) 来年度の委員会構成および運営について。7) 昭和38年度吉田研究奨励金被授与者研究報告。8) 授賞経過報告、授賞理由書の作成。

(38) 会誌編集委員会(40.4.30) 出席者：八十島、樋口正副委員長、ほか12名。議事：1) 会誌50巻6号編集(4月小委員会)報告。2) 原稿投稿状況報告。3) 依頼原稿決定。4) 昭和40年度懸賞論文募集決定。5) その他。

(39) 土木賞委員会(第3回)(40.4.30) 出席者：福田委員長、八十島学術賞主査、伊藤技術賞主査、ほか14名。議事：1) 経過報告。2) 開票結果事前審議。2) 決選投票の開票。4) 受賞者の決定。5) 委員の交替。6) 総会における委員長経過報告および受賞理由の原稿作成。7) その他。

(40) 大学土木教育委員会第26回幹事会(40.5.1) 出席者：米屋委員長、嶋幹事長、ほか5名。議事：1) 総括報告書の出版について。2) 委員長交替につい

て。3) 総括報告書原稿の討議。

◎その他

(1) 土木学会・日本建築学会コンクリート連合委員会・ポンド分科会打合せ(40.4.2)出席者:関係者5名。議事:1)研究費の配分について。2)研究費の精算について。3)来年度の研究方針について。4)次回打合せについて。

(2) 故田中 豊博士記念事業打合せ(40.4.2)出席者:関係者18名。議事:1)経過報告。2)今後のすすめ方。3)発起人有志代表について。4)準備委員会構成。5)記念事業計画。6)募金の範囲について。7)発起人構成について。

(3) 第1回田中 豊博士記念事業会実行委員会(40.4.13)出席者:平井委員長,ほか12名。議事:1)経過報告。2)有志代表について。3)発起人依頼状案について。4)発起人構成について。5)趣意書案の件。6)募金の方法について。

(4) 田中 豊博士記念事業会実行委員会打合せ(40.4.20)出席者:関係者3名。議事:発起人依頼につき種々打合せた。

(5) 第2回異形鉄筋に関するシンポジウム(40.4.23)場所:日本化学会講堂参加者:約250名 講演:19題

(6) 土木学会・日本建築学会 コンクリート連合委員会・ポンド分科会(40.4.26)出席者:関係者10名。議事:1)実験結果報告。2)今後の実験について。

(7) 日本工学会定時総会(40.4.26)場所:船舶振興クラブ。出席協会:31学協会(含,委任状)。議題:1)昭和39年度会務報告と収支決算報告を承認。2)昭和40年度事業計画案と予算案を決議。3)次期理事会,理事承認の件。当学会関係部門は造船協会副会長高木 淳(東京大学教授)氏。4)次期監事学会は窯業協会,原子力学会に決定。5)次期会長,副会長をつぎのとおり決定

会長 辻 二郎 (理研計器社長 応用物理学会会員)  
副会長 平山 嵩 (東京大学名誉教授 建築学会会員)

支 部 だ よ り

◎北海道支部

(1) 新旧支部引継(40.4.19)議事:支部事務局において新幹事長 本間四郎氏(道 道路課長),前年度幹事長北郷 繁(北大教授)氏の間に金品ならびに一般事務関係の引継ぎが行なわれた。

(2) 評議員支部内打合せ(40.4.27,

於不二家)出席者:関係者6名。議事:5月12日開催の本部評議員 対策を打合せの後,北郷評議員が出席に決定。

(3) 第1回幹事会(40.5.7)出席者:中村新支部長,本間新幹事長,ほか新幹事12名。記事:中村支部長により新任挨拶の後つぎの議事を行なった。1)幹事会の運営。2)40年度予算の検討。3)支部事業の計画。4)事業別幹事分担。5)41年度全国大会の準備方針などについて協議した。

(4) 新年度幹事の委嘱:4月28日付で支部長よりつぎの幹事が委嘱された。

- 荒川 利輝(大林組)
- 大沢 幹夫(札幌市工事第1課)
- 加来 照俊(北工工学部)
- 木村 取一(北電工事課)
- 戸巻 照三(道 港湾課)
- 外崎 忍(開発局)
- 土岐 祥介(北工工学部)
- 能勢 之次(国鉄支社工事課)
- 林 信雄(開発局)
- 松山 方彦(開発局)
- 村田 郁夫(道 河川課)
- 山根 達夫(道 道路課)

(5) 第1回商議員会(40.5.11,於札幌ホテル)出席者:中村支部長,本間幹事長,ほか20名。議事:1)40年度事業。2)40年度予算。3)41年度全国大会の準備。4)事務局の移転。5)水理学研修会。

(6) 41年度全国大会準備委員長の委嘱:5月12日中村支部長から開発局長堂垣内尚弘氏を同委員長に書面により面接の上委嘱応諾を得た。

◎東北支部

(1) 幹事会(40.4.27,仙台セントラルホテル)出席者:関係者14名。議事:昭和40年度事業計画,その他。

(2) 会計監査(40.5.10,クローバー)出席者:監査員宮城県土木計画課長水川氏,ほか関係者3名。議事:1)一般会計帳簿,2)50回通常総会帳簿,3)特別基金帳簿,等の監査を行なった。

(3) 商議員会(40.5.13,宮城県民会館)出席者:関係者14名。議事:1)支部長および商議員の改選。2)40年度の事業計画および予算について。3)40年度の支部総会について。

◎関東支部

(1) 役員会(40.4.28,土木学会)出席者:当山支部長,堺 幹事長,ほか12名。議事:新支部長選出その他。

(2) 第2回通常総会(40.4.28,土木

図書館)

出席者:60人

次 第:①支部長あいさつ

②昭和39年度事業報告および決算報告の承認

③昭和40年度事業計画および予算の報告

④商議員改選の承認

⑤新役員の紹介

⑥新支部長あいさつ

(3) 総会懇親会(40.4.28,土木図書館)参加者:35人

(4) 昭和40年度役員

- 支部長 当山 道三 日本大学教授
- 幹事長 堺 毅 日本大学教授
- 商議員 川崎偉志夫 建設省関東地方建設局道路部長
- 西田 俊策 運輸省第2港湾建設局横浜調査設計事務所長
- 高橋 克男 日本国有鉄道建設局停車場課長
- 水越 達雄 東京電力KK建設部長
- 川野 博司 日本道路公団東京支社工事部長
- 有江 義晴 首都高速道路公団工務部長
- 西嶋 國造 帝都高速交通営団工務部長
- 畑野 正 電力中央研究所技術研究所長付
- 八十島義之助 東京大学教授
- 後藤 正司 早稲田大学教授
- 小野竹之助 日本大学教授
- 野中 八郎 東京都下水道局技監
- 上野 実昭 茨城県土木部長
- 前島 健雄 栃木県土木部長
- 五十嵐正武 群馬県土木部長
- 松垣 光 埼玉県土木部長
- 角坂 仁忠 千葉県土木部長
- 秋永 規輔 神奈川県土木部長
- 田所 文男 新潟県土木部長
- 川手 良親 山梨県土木部長
- 安藤 道夫 三井建設KK専務取締役
- 生田 久也 鹿島建設KK土木企画部次長
- 龜井川振興 日本鋪道KK専務取締役
- 小松原 豊 日本国土開発KK取締役
- 幹 事 ○佐藤 秀一 建設省関東地方建設局道路計画一課長
- 田辺 未信 建設省道路局地方道課長補佐
- 藤井 宏知 運輸省第2港湾建設局企画課長
- 町田富士夫 日本国有鉄道東京工務局土木課長
- 戸谷 是公 日本道路公団東京支社補修課長
- 上前行孝 首都高速道路公団工務部工務課長
- 渡辺 健 帝都高速交通営団建設部
- 吉田 巖 建設省土木研究所千葉支所
- 千秋 信一 電力中央研究所技術研究所
- 森 麟 早稲田大学助教授
- 三宅 政光 東京都立田無工業高等学校教諭
- 永田 正男 東京都立小石川工業高等学校教諭
- 松本 成男 東京都交通局高速電車建設本部建設部計画課

長  
 ○二階堂 宏 東京都下水道局建設部  
 計画課長  
 ○番 二郎 群馬県土木部道路建設  
 課橋梁係長  
 山本 哲 新潟県土木部計画課長  
 ○佐藤 光春 電源開発KK水力建設  
 部副調査役  
 ○石井 石雄 東京急行電鉄KK工務  
 部  
 鈴木 邦彦 KK熊谷組審査部  
 武川恵之助 清水建設KK  
 ○佐藤 正昭 松尾橋梁KK東京支店  
 ○関沢 昭房 日本鋼管KK橋梁部  
 ○河井 祐次 オリエンタルコンクリ  
 ートKK東京営業所  
 (○印は在任2年, 他は在任1年)

◎関西支部

(1) PC工事映画と見学の会(40.4.27)

映 画: プレストレスト コンクリートのすべて(国際ホテル)

見学先: 阪神高速道路公団 末吉橋工事(D.W. 工法), 久之助橋東掘橋間工事(フレンチ式プレキャストブロック工法)

参加者: 102名 参加費: 無料

(2) 第4回商議員会(40.5.11, 好文倶楽部) 出席者: 商議員 16名, 委任状6通, 評議員: 5名, 理事 松尾, 鏡の両氏, 山崎支部長, 松尾幹事長, 幹事6名。

(3) 第38回通常総会(40.5.11, 好文倶楽部)

総 会: ①諸報告

②新役員紹介

(昭和40年度)

支部長 玉井 正彰 KK鴻池組常務取締役

(昭和40, 41年度)

商議員 天野 光三 京都大学助教授

安藤 隆敏 KK新井組土木部長  
 岩本 幸二 阪神高速道路公団神戸建設部次長  
 内田 正人 関西電力KK建設部水力計画課長  
 遠藤 正一 大阪府土木部河川課長  
 大村 裕 神戸大学教授  
 小笠原 弘 兵庫県土木部道路課長  
 岡本 和夫 南海電気鉄道KK工務部改良課長  
 紙谷 齊治 不動建設KK常務取締役  
 北川 雅敏 KK奥村組土木工務部工事課長  
 相川 治 公成建設KK常務取締役  
 佐野 幹夫 福井県土木部計画課長補佐  
 玉泉 大久 KK大林組研究室次長  
 富所 克己 京都府土木建築部河港課長  
 中島 康吉 日立造船KK技術研究所第六研究室長  
 滋賀県土木部河港課長  
 二ノ宮正明 立命館大学教授  
 畠山 直隆 和歌山県土木部道路課長  
 花井 晋三 建設省近畿地建第二阪神国道工事事務所長  
 松尾 寿一 PSコンクリートKK大阪事務所副所長  
 山田 政喜 六甲工業高等専門学校教授  
 吉村 貞次  
 (昭和40, 41年度)  
 評議員 赤尾 親助 大阪工業大学教授  
 天野 毅彦 京阪神急行電鉄KK常務取締役  
 石田 聖 鹿島建設KK大阪支店次長  
 伊藤 富雄 大阪大学教授  
 岡崎 忠一 大阪府土木部長  
 倉田 宗章 大阪市立大学教授  
 小林 利春 神戸市水道局長  
 坂田 中 建設省近畿地方建設局長  
 清水 清三 大阪市水道局長  
 玉井 正彰 KK鴻池組常務取締役  
 丹羽 義次 京都大学教授  
 別所 正夫 兵庫県土木部長

松尾新一郎 京都大学教授  
 宮崎 茂一 運輸省第三港建局長  
 宮田 裕 大成建設KK大阪支店次長

③感謝状贈呈

④旧, 新支部長挨拶

講 演:

1. 本州四国連絡架橋の調査について  
 建設省 近畿地方建設局長 坂田 中
  2. 近畿圏整備と大都市問題  
 阪神高速道路公団理事長 栗本順三
- 映 画: ニューフォース ロードブリッジ  
 在阪神英国総領事 J.O. ロイド氏より挨拶があった。

参加者: 115名

(4) 総会懇親会(40.5.11, 好文倶楽部)

参加者: 64名(うち招待関係16名)

(5) 昭和40年度委嘱幹事および幹事

幹事長 松尾新一郎 京都大学教授  
 幹 事 赤野 豊 KK大林組土木工務部長  
 新井 敬造 ビーシー橋梁KK代表取締役  
 池田 久夫 KK鴻池組営業部長  
 今村 猛 高田機工KK製造部長  
 遠藤 正一 大阪府土木部河川課長  
 尾山 一郎 大阪市土木局道路補修課長  
 川崎 精一 近畿地建企画室長  
 児玉 武三 大阪工業大学助教授  
 小林 二郎 KKオリエンタルコンサルタント大阪支社長  
 多田 政文 神戸市水道局工務課長  
 玉井 撰郎 KK新日本技術コンサルタント土木部長  
 中埜 肇 阪神電気鉄道KK工務部土木課長  
 畑中 元弘 神戸大学教授  
 三瀬 貞 大阪市立大学教授  
 宮口 伊秀 国鉄大阪工務局線増課長補佐  
 室田 明 大阪大学助教授  
 山田 善一 京都大学助教授

編集後記

昭和40年度の総会および年次学術講演会が西部支部のお世話により九州大学を中心に5月28, 29, 30日の3日間にわたって開催され, 学術講演会においては, 実に452編の多数にのぼる論文発表が行なわれ, 熱心な討議を加えて盛大裡に終了しましたことはご同慶の至りに思います。

本号はこの総会における恒例の行事と総合講演会の記事を中心とした大会特集号として編集しました。

巻頭論説は新会長 岡部三郎氏による“会長就任の言葉”を登載しました。口絵では本会発展のために中心となってご尽力をお願いする新役員の皆様および新しく選ばれた名誉会員の皆様の横顔をお知らせし, 本大会の総会において表彰された土木賞, 吉田賞受賞の方々の横顔と論文要旨も掲載しましたが, これらの方々の輝かしい成果に対し敬意を表するものであります。また大多数の学術講演会発表論文の概要および総括報告は8月号に掲載し

ます。

通常記事としましては, コンサルタント業務の一部として最近富にクローズ・アップしてきました“施工管理の委託”についての斉藤義治氏による論説をふくめて6編あります。また新しい講座としまして本号より6回にわたって“シールド工法”が始まりますが, 本号はその1として, 藤井・村山の両氏に執筆をお願いしました。軟弱地盤における施工促進については常日ごろ悩まされていることでして大いにご期待頂けるものと確信いたしております。

また今回で第2回目を迎える学会誌懸賞論文の募集要項を掲載してありますが, 優秀作品に対しては沢山の賞品も用意してあるようですから第1回目におとらず力感にあふれた沢山のご応募をお待ちしております。

【茨木・記】

委員長	樋口 芳 朗						
委 員	浅谷陽治	天野礼二	茨木竜雄	上田勝基	大久保喜市	尾仲 章	北田勇輔
	国広安彦	黒崎 護	小坂 忠	斉木三郎*	堺 幸七	佐藤尚徳	渋谷祥夫*
	高橋 裕*	立石俊一	寺尾英二	豊島 修*	中村正平	西 敏賢	前田 進
	安井英夫	横山義一	吉村 恒	米田宗弘			
地方委員	(北海道支部)	(東北支部)	(関東支部)	(中部支部)	(関西支部)	(中四支部)	(西部支部)
	河野文弘	岩崎敏夫	番 二郎	酒井清太郎	畑中元弘	川上賢司	徳光善治
	渡辺 昇	倉西 茂	渡辺 健	増田重臣	山田善一	船越 稔	沼田 淳

会 員 の 入 退 会 に つ い て ( 昭 和 40.5.1~5.31 )

入 会	514 名 ( 正 106 学 400 特 1.C 特 1.D 特 2 5 )
復 活	2 名 ( 正 1 特 1.D 1 )
退 会	49 名 ( 正 42 学 1 特 1.C 2 特 1.D 3 特 2 1 )
死 亡	3 名 ( 正 )
転 格	19 名 ( 正 → 学 5 正 → 名誉 6 学 → 正 7 特 1.D → 特 1.C 1 )

特 別 員 の 入 退 会

○入 会	昭和 40.5.18	特 1.C	日本電信電話公社建設局土木課	東京都千代田区内幸町 1-1
" "	" " 5.15	特 1.D	運輸省第五港湾建設局四日市港工事事務所	四日市市大浜町 1 番地
" "	" " 5.19	"	横浜市総務局技術審査室	横浜市中区港町 1-1
" "	" " 5.6	特 2	富山県立大谷技術短期大学衛生工学科	富山県射水郡小杉町黒河
" "	" " 5.18	"	国土館大学工学部	東京都世田谷区世田谷 1-1006
" "	" " " "	"	帝京高等学校工業科土木科	東京都板橋区加賀 2 丁目 10 番 1 号
" "	" " 5.19	"	九州大学農学部図書街	福岡市箱崎町
" "	" " " "	"	広島工業大学	広島市外五日市町三宅
○復 活	昭和 40.5.8	特 1.D	建設省関東地方建設局江戸川工事事務所	野田市宮崎 134
○退 会	昭和 40.5.31	特 1.C	秋島建設KK札幌支店	札幌市南 9 条西 3-10
" "	" " " "	"	汽車製造KK札幌営業所	札幌市北 1 条西 4 丁目東邦生命ビル
" "	" " 5.4	特 1.D	北海道開発局網走開発建設部	網走市新町
" "	" " 5.17	"	王子重工業KK	東京都北区王子 5-13
" "	" " " "	"	日本セメントKK西多摩工場	東京都西多摩郡日の出村大久野2650
" "	" " 5.25	特 2	日比谷図書館	東京都千代田区日比谷

会 員 現 在 数

名 誉	正会員	学生会員	賛 助	特 級	特 1.A	特 1.B	特 1.C	特 1.D	特 2	合 計 ( 増 )
62	17 253	2 600	30	18	16	51	209	336	49	20 624 (466)

正 会 員	安 藤 功 君	攻玉社短期大学教授	昭和 40.5.7	死 去	78 才
"	三 野 茂 夫 君	岡山鉄道管理局施設部工事課長	" 40.5.23	"	50 才
"	桑 原 芳 彦 君	神奈川県土木部道路課	" 40.5.5	"	37 才

昭和 40 年 7 月 10 日印刷

昭和 40 年 7 月 15 日発行

土 木 学 会 誌 第 50 卷 第 7 号

印 刷 者 大 沼 正 吉

印 刷 所 株 式 会 社 技 報 堂

東 京 都 港 区 赤 坂 溜 池 5 番 地

口 絵 製 版 印 刷 者 若 林 孟 夫

印 刷 所 若 林 原 色 写 真 工 芸 社

東 京 都 港 区 芝 金 杉 川 口 町 20 番 地

発 行 者 羽 田 巖

発 行 所 社 団 法 人 土 木 学 会

東 京 都 新 宿 区 四 谷 一 丁 目

定 価 250 円 ( 送 料 15 円 )

振 替 東 京 16828 番

電 話 ( 351 ) 5130 ( 編 集 直 通 ) ・ 5138 ・ 5139 番

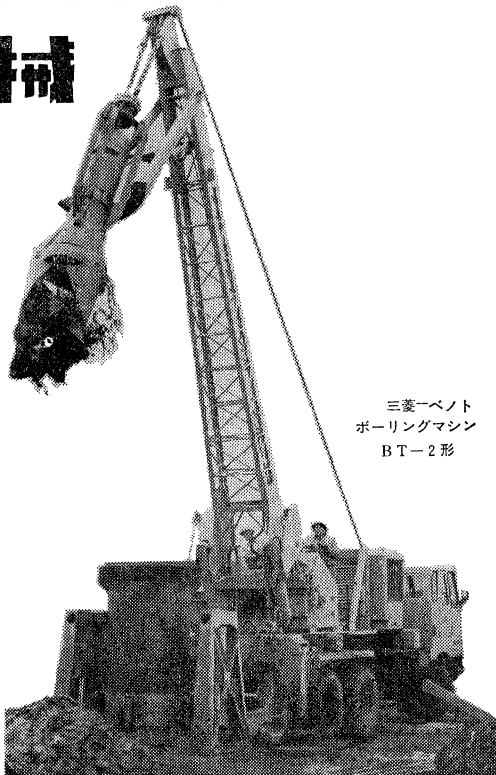
# 三菱建設機械

主要製作品目 パワー・ショベル、ディーゼル・ハンマ、タイヤローラ  
 アスファルト・フィニッシャ、アスファルト・プラント  
 コンクリート・ポンプ、コンクリート・ミキサ



## 三菱重工業株式会社

建設機械部 建設機械一課  
 東京都千代田区丸の内2の10 電話 (212) 3111



三菱-ベント  
 ボーリングマシン  
 BT-2形

### 三菱商事株式会社

本店 東京都千代田区丸の内2の20  
 電話 (211) 0211

### 新東亜交易株式会社

本店 東京都千代田区丸の内3の2  
 電話 (212) 8411

### 椿本興業株式会社

本店 大阪市北区南扇町5  
 電話 (361) 5631

### 東京産業株式会社

本店 東京都千代田区丸の内3の2  
 電話 (212) 7611

### 株式会社米井商店

本店 東京都中央区銀座2の3  
 電話 (561) 1171

### 四国機器株式会社

本社 高松市観光通2の12の5  
 電話 (3) 9111

### 榎崎産業株式会社

札幌支店 札幌市大通西5丁目  
 電話 (24) 8241

### 富山菱和自動車株式会社

本社 富山県婦負郡呉羽町野口842  
 電話 呉羽 (6) 5181

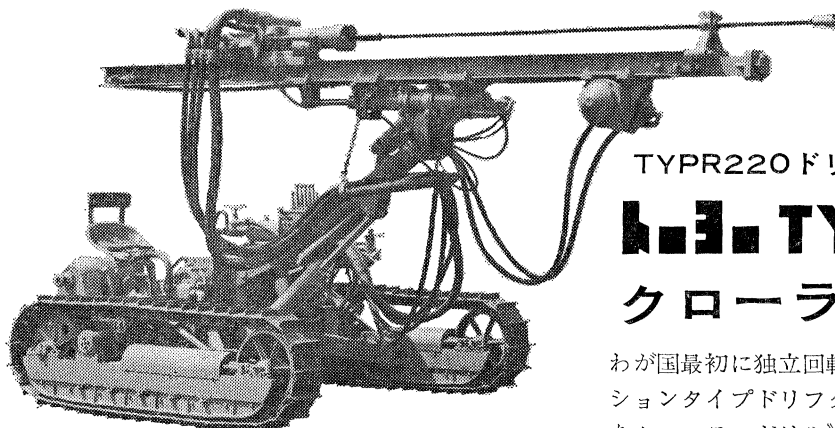
### 株式会社小松自動車商会

本社 石川県小松市八日市町地方チ8の1  
 電話 (小松) 3825

### 新菱重機株式会社

本社 東京都新宿区新宿1の79  
 電話 (354) 2531

## 大口径の長孔掘さくに新威力!



TYPR220ドリフターを搭載した  
**TYCD-2型**  
 クローラードリル

わが国最初に独立回転機構のパワーローテーションタイプドリフターを搭載した《本格的なクローラードリル》です

発売元  
**東洋さく岩機販売株式会社**

東京本店 東京都中央区日本橋江戸橋3の6  
 支店・営業所 大阪・名古屋・福岡・札幌・仙台・高松



製造元・広島

**東洋工業株式会社**